



2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社三ツ知 上場取引所 東・名
 コード番号 3439 URL <http://www.mitsuchi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 和志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 村越 康幸 (TEL) 0568-35-6350
 定時株主総会開催予定日 2020年9月24日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の連結業績(2019年7月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	12,468	△14.4	16	△97.2	108	△83.8	△184	—
2019年6月期	14,567	2.8	585	6.6	668	8.9	472	△33.8

(注) 包括利益 2020年6月期 △329百万円(—%) 2019年6月期 513百万円(△30.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	△72.94	—	△2.2	0.7	0.1
2019年6月期	186.73	—	5.7	4.3	4.0

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 一百万円 2019年6月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	14,517	8,017	55.2	3,167.19
2019年6月期	15,535	8,468	54.5	3,345.12

(参考) 自己資本 2020年6月期 8,017百万円 2019年6月期 8,468百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	450	△1,365	527	3,519
2019年6月期	798	△498	△446	3,965

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期	—	30.00	—	35.00	65.00	164	34.8	2.0
2020年6月期	—	13.00	—	0.00	13.00	32	—	0.4
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00		—	

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,058	△27.3	△130	—	△65	—	△45	—	△18.11
通期	11,142	△10.6	27	70.2	105	△2.3	73	—	29.03

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名）、除外 1社（社名）株式会社三ツ知春日井

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年6月期	2,652,020株	2019年6月期	2,652,020株
2020年6月期	120,616株	2019年6月期	120,503株
2020年6月期	2,531,456株	2019年6月期	2,531,548株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 剰余金の配当等の決定に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(期中における重要な子会社の異動)	13
(表示方法の変更)	13
(連結損益計算書関係)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18
(開示の省略)	18
(参考資料)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に回復基調が見られ、景気は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、米国及び中国の貿易摩擦の長期化の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により状況が一転し、国内外問わず外出禁止及び自粛等により経済活動が抑制され、消費活動が一気に冷え込み、景気が急速に悪化いたしました。

当社グループの主要得意先であります自動車部品業界におきましては、前半は堅調に推移いたしました。新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、自動車メーカーが国内、海外共に一定期間工場稼働を停止する等、非常に厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループでは経営理念であります「絶えざる技術革新」と「ニーズを先取りした製品」の「スピードある提供」を通じ、お客様の「揺るぎない信頼のもとグローバル企業」を実現するために、中期経営計画の4年目として、株式会社三ツ知及び連結子会社でありました株式会社三ツ知春日井との合併により、今まで以上の業務効率化を実施し、対処すべき課題の解消及び中期経営計画の達成に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高につきましては、米国及び中国の貿易摩擦の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による工場稼働停止の影響により、すべてのセグメントが減収となり、売上高は124億68百万円(前年同期比14.4%減)となりました。利益面につきましても、工場稼働停止による減収及び設備投資による製造原価の増加の影響は大きく、営業利益は16百万円(前年同期比97.2%減)、経常利益は1億8百万円(前年同期比83.8%減)となりました。また、特別損失として固定資産の減損損失2億57百万円を計上したこと等により、1億84百万円の親会社株主に帰属する当期純損失(前年同期は4億72百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[日本]

新型コロナウイルス感染拡大の影響による自動車メーカーの一時生産停止等の影響により、海外向け受注の減少及び国内受注も減少し、売上高は100億71百万円(前年同期比16.9%減)となりました。利益面につきましても、生産工場の休業等コスト削減を実施いたしましたが減収の影響は大きく、営業利益は10百万円(前年同期比97.2%減)となりました。

[米国]

新規立ち上げの遅れによる得意先からの受注が減少し、売上高は11億70百万円(前年同期比9.8%減)となりました。利益面につきましても輸入製品の増加による利益率の低下、及び新規品製造準備のための諸経費の増加、並びに労務費の増加による売上原価の増加により、20百万円の営業損失(前年同期は46百万円の営業利益)となりました。

[タイ]

タイ国からの輸出向け製品の減少に伴う受注減少により、売上高は19億57百万円(前年同期比14.9%減)となりました。利益面につきましても、原価低減活動によるコスト削減に努めましたが、減収の影響が大きく、営業利益は39百万円(前年同期比76.4%減)となりました。

[中国]

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1ヶ月程度の稼働停止を実施したため、売上高は3億45百万円(前年同期比25.3%減)となりました。利益面につきましても、減収による固定費を賄えず、29百万円の営業損失(前年同期は0百万円の営業利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億18百万円減少し、145億17百万円となりました。

資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金の減少、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末に比べ15億36百万円減少し、83億44百万円となりました。また、固定資産については、機械装置及び運搬具の増加、建物及び構築物の増加等により前連結会計年度末に比べ5億17百万円増加し、61億72百万円となりました。

負債の部では、流動負債が支払手形及び買掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ9億57百万円減少し、27億70百万円となりました。また、固定負債については、社債の減少はあったものの長期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ3億89百万円増加し、37億28百万円となりました。

純資産の部では、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べ4億50百万円減少し、80億17百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.5%から55.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億46百万円減少し、35億19百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少額9億69百万円、減価償却費7億6百万円等による資金増があり、一方で仕入債務の減少額10億18百万円、法人税等の支払額2億11百万円等による資金減により、4億50百万円の収入(前連結会計年度比43.6%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、保険積立金の払戻による収入2億74百万円等の資金増があり、一方で有形固定資産の取得による支出15億90百万円、保険積立金の積立による支出31百万円、無形固定資産の取得による支出19百万円等による資金減により、13億65百万円の支出(前連結会計年度比173.9%増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入14億53百万円等の資金増があり、一方で長期借入金の返済による支出7億50百万円、社債の償還による支出2億9百万円、配当金の支払額1億21百万円等による資金減により、5億27百万円の収入(前連結会計年度は4億46百万円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率	48.1	49.3	52.7	54.5	55.2
時価ベースの自己資本比率	25.8	26.8	30.8	39.1	38.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.7	5.0	4.7	5.0	10.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	22.5	19.3	25.3	29.2	13.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、国内外を問わず経済活動に多大な影響があり、収束には時間を要すると考えられます。

当社グループが関連する自動車部品業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きは不透明な状況となっております。

このような経営環境の中、当社グループの次期連結業績につきましては、1 USD=106.00円、1 THB=3.30円、1 人民元=15.00円の想定のもと、現時点において入手可能な情報を考慮し、売上高は111億42百万円(前年同期比10.6%減)と大幅な減収と見込んでおります。利益面につきましては、減収の影響があるものの、業務の効率化による経費等の削減等により、営業利益は27百万円(前年同期比70.2%増)、経常利益は1億5百万円(前年同期比2.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は73百万円(前年同期は1億84百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)と見込んでおります。

(5) 剰余金の配当等の決定に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、配当につきましては、株主利益を第一に尊重し、継続的な成長に必要な内部留保とのバランスを考慮しながら、配当性向についても中長期で連結配当性向30%を目標として配当を行うよう努めてまいることが基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、見送りさせていただき、年間配当は1株当たり13円といたしました。

次期につきましては、1株当たり年間配当金を8円(中間配当0円、期末配当8円)とする計画であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,965,980	3,519,393
受取手形及び売掛金	2,240,598	1,494,144
電子記録債権	920,497	678,576
商品及び製品	1,111,164	943,889
仕掛品	461,015	447,617
原材料及び貯蔵品	997,585	931,305
その他	184,263	329,809
流動資産合計	9,881,105	8,344,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,563,361	2,752,544
減価償却累計額	△1,143,909	△1,224,335
建物及び構築物(純額)	1,419,451	1,528,208
機械装置及び運搬具	4,378,116	4,906,712
減価償却累計額	△2,630,270	△2,923,949
機械装置及び運搬具(純額)	1,747,846	1,982,762
土地	1,513,991	1,388,612
リース資産	133,970	340,435
減価償却累計額	△55,832	△109,852
リース資産(純額)	78,137	230,583
建設仮勘定	46,238	374,488
その他	1,545,744	1,542,984
減価償却累計額	△1,347,564	△1,388,870
その他(純額)	198,179	154,114
有形固定資産合計	5,003,844	5,658,769
無形固定資産		
その他	148,395	128,424
無形固定資産合計	148,395	128,424
投資その他の資産		
投資有価証券	169,398	150,987
繰延税金資産	59,270	101,101
その他	273,812	133,359
貸倒引当金	△220	△220
投資その他の資産合計	502,261	385,228
固定資産合計	5,654,501	6,172,422
資産合計	15,535,607	14,517,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,425,522	476,390
電子記録債務	696,845	611,856
短期借入金	—	200,000
1年内償還予定の社債	209,280	209,280
1年内返済予定の長期借入金	658,362	807,667
リース債務	35,958	45,132
未払法人税等	115,854	25,173
賞与引当金	2,882	2,940
役員賞与引当金	13,985	—
その他	569,410	392,466
流動負債合計	3,728,101	2,770,906
固定負債		
社債	792,520	583,240
長期借入金	2,219,428	2,768,188
リース債務	94,445	177,109
繰延税金負債	62,467	50,564
役員退職慰労引当金	55,849	13,491
退職給付に係る負債	78,177	93,932
資産除去債務	34,785	35,093
その他	1,600	7,195
固定負債合計	3,339,273	3,728,815
負債合計	7,067,375	6,499,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,900	405,900
資本剰余金	604,430	604,430
利益剰余金	7,303,457	6,997,306
自己株式	△133,924	△134,164
株主資本合計	8,179,863	7,873,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,980	△12,061
為替換算調整勘定	290,348	156,026
その他の包括利益累計額合計	288,368	143,965
純資産合計	8,468,231	8,017,437
負債純資産合計	15,535,607	14,517,159

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,567,549	12,468,302
売上原価	11,924,177	10,636,086
売上総利益	2,643,371	1,832,216
販売費及び一般管理費	2,058,309	1,816,093
営業利益	585,062	16,123
営業外収益		
受取利息	6,744	6,017
受取配当金	6,161	5,590
助成金収入	11,429	58,385
作業くず売却益	25,613	14,359
受取補償金	8,603	21,437
その他	83,559	43,605
営業外収益合計	142,110	149,397
営業外費用		
支払利息	27,318	32,500
為替差損	7,939	2,124
賃貸費用	4,048	6,028
その他	19,021	16,620
営業外費用合計	58,328	57,273
経常利益	668,845	108,246
特別利益		
保険解約返戻金	—	94,491
特別利益合計	—	94,491
特別損失		
減損損失	—	257,834
投資有価証券評価損	—	8,174
役員退職慰労金	—	122,394
特別損失合計	—	388,403
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	668,845	△185,666
法人税、住民税及び事業税	210,875	48,861
法人税等調整額	△14,745	△49,888
法人税等合計	196,130	△1,027
当期純利益又は当期純損失(△)	472,715	△184,639
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	472,715	△184,639

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	472,715	△184,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,677	△10,080
為替換算調整勘定	74,235	△134,322
その他の包括利益合計	40,558	△144,402
包括利益	513,273	△329,041
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	513,273	△329,041
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	405,900	604,430	6,995,293	△133,791	7,871,833
当期変動額					
剰余金の配当			△164,551		△164,551
親会社株主に帰属する当期純利益			472,715		472,715
自己株式の取得				△133	△133
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	308,163	△133	308,029
当期末残高	405,900	604,430	7,303,457	△133,924	8,179,863

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	31,696	216,112	247,809	8,119,643
当期変動額				
剰余金の配当				△164,551
親会社株主に帰属する当期純利益				472,715
自己株式の取得				△133
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△33,677	74,235	40,558	40,558
当期変動額合計	△33,677	74,235	40,558	348,588
当期末残高	△1,980	290,348	288,368	8,468,231

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	405,900	604,430	7,303,457	△133,924	8,179,863
当期変動額					
剰余金の配当			△121,511		△121,511
親会社株主に帰属する当期純損失			△184,639		△184,639
自己株式の取得				△239	△239
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△306,150	△239	△306,390
当期末残高	405,900	604,430	6,997,306	△134,164	7,873,472

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	△1,980	290,348	288,368	8,468,231
当期変動額				
剰余金の配当				△121,511
親会社株主に帰属する当期純損失				△184,639
自己株式の取得				△239
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10,080	△134,322	△144,402	△144,402
当期変動額合計	△10,080	△134,322	△144,402	△450,793
当期末残高	△12,061	156,026	143,965	8,017,437

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	668,845	△185,666
減価償却費	615,895	706,480
のれん償却額	43,578	—
減損損失	—	257,834
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,804	58
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,730	△13,985
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42,789	17,513
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,295	△42,358
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	69,302	—
固定資産売却損益(△は益)	△3,613	1,515
受取利息及び受取配当金	△12,905	△11,608
保険解約損益(△は益)	△39,176	△100,183
支払利息	27,318	32,500
役員退職慰労金	—	122,394
投資有価証券評価損益(△は益)	—	8,174
受取保険金	—	△740
売上債権の増減額(△は増加)	△78,109	969,152
たな卸資産の増減額(△は増加)	△316,831	208,471
未収入金の増減額(△は増加)	△1,641	△57,955
仕入債務の増減額(△は減少)	△50,732	△1,018,144
未払金の増減額(△は減少)	19,469	△30,975
未払費用の増減額(△は減少)	△5,929	△37,857
その他	△36,913	△24,661
小計	917,518	799,958
利息及び配当金の受取額	12,905	11,608
保険金の受取額	—	740
利息の支払額	△28,020	△33,119
役員退職慰労金の支払額	—	△122,394
法人税等の支払額	△158,301	△211,861
法人税等の還付額	54,573	5,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	798,675	450,671

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	46,772	—
有形固定資産の取得による支出	△570,136	△1,590,097
有形固定資産の売却による収入	15,149	4,550
無形固定資産の取得による支出	△26,428	△19,497
投資有価証券の取得による支出	△3,178	△3,136
保険積立金の積立による支出	△52,943	△31,146
保険積立金の払戻による収入	91,512	274,807
その他	843	△573
投資活動によるキャッシュ・フロー	△498,409	△1,365,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	676,000	1,453,500
長期借入金の返済による支出	△681,493	△750,425
セール・アンド・リースバックによる収入	49,659	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△68,943	△44,462
社債の償還による支出	△257,280	△209,280
自己株式の取得による支出	△133	△239
配当金の支払額	△164,535	△121,554
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446,727	527,538
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,784	△59,701
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△123,677	△446,587
現金及び現金同等物の期首残高	4,089,657	3,965,980
現金及び現金同等物の期末残高	3,965,980	3,519,393

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用する在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を、第1四半期連結会計期間より適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、当会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当連結会計年度末の連結貸借対照表において固定資産の有形固定資産のリース資産が113,900千円、流動負債のリース債務が8,638千円、固定負債のリース債務が109,202千円それぞれ増加しております。

なお、当連結会計年度累計期間の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(期中における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社でありました株式会社三ツ知春日井を当社が吸収合併したことにより、株式会社三ツ知春日井は、当社の特定子会社に該当しないこととなり、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「助成金収入」及び「受取補償金」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。また、独立掲記しておりました「営業外収益」の「保険解約返戻金」は重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「保険解約返戻金」に表示していた39,176千円及び「その他」に表示していた64,415千円は、「助成金収入」11,429千円、「受取補償金」8,603千円、「その他」83,559千円として組み替えております。

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「賃貸費用」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。また、独立掲記しておりました「営業外費用」の「災害による損失」は重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において「営業外費用」の「災害による損失」に表示していた6,174千円及び「その他」に表示していた16,895千円は、「賃貸費用」4,048千円、「その他」19,021千円として組み替えております。

(連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

場所	用途	種類	金額
愛知県新城市	自動車部品製造関連設備	建物及び構築物 機械装置及び運搬具 工具、器具及び備品 土地	257,834千円

当社グループは、管理会計上の区分を基礎にグルーピングを行っております。

当社グループの株式会社三ツ知部品工業において、営業活動から生じる損益がマイナスとなっており、当該事業の割引前将来キャッシュ・フローについて新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響も加味して検討した結果、減損損失を認識することが適切であると判断いたしました。よって、当連結会計年度に「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当該事業に係る資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(257,834千円)として特別損失に計上しました。その内訳は、建物及び構築物102,798千円、機械装置及び運搬具29,985千円、工具、器具及び備品5,021千円、土地120,029千円であります。

なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は不動産鑑定会社等の調査による実勢価額を基準に評価しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用部品の製造・販売を主な事業としている専門メーカーであり、国内においては当社が、海外においては米国、タイ、中国の各現地法人がそれぞれ製造・販売しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について、各地域毎に事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「タイ」、「中国」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,761,822	1,285,960	2,056,810	462,954	14,567,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,358,819	11,309	243,918	99	1,614,146
計	12,120,642	1,297,270	2,300,729	463,053	16,181,696
セグメント利益	356,116	46,532	167,724	890	571,264
セグメント資産	13,239,115	1,261,854	2,453,403	543,786	17,498,159

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	中国	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,231,300	1,159,855	1,731,444	345,702	12,468,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	840,234	10,471	226,529	34	1,077,270
計	10,071,535	1,170,327	1,957,974	345,736	13,545,573
セグメント利益又は損失 (△)	10,038	△20,214	39,653	△29,243	233
セグメント資産	12,412,806	1,127,130	2,314,026	562,725	16,416,688

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,181,696	13,545,573
セグメント間取引消去	△1,614,146	△1,077,270
連結財務諸表の売上高	14,567,549	12,468,302

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	571,264	233
セグメント間取引消去	13,798	15,889
連結財務諸表の営業利益	585,062	16,123

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,498,159	16,416,688
セグメント間取引消去	△1,962,552	△1,899,528
連結財務諸表の資産合計	15,535,607	14,517,159

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	自動車用部品							非自動車用部品	合計
	シート用部品	ウインドウレギュレーター用部品	ロック用部品	エンジン用部品	足回り用部品	その他	小計		
外部顧客への売上高	6,234,625	1,432,475	739,807	2,210,360	1,587,267	1,512,682	13,717,220	850,328	14,567,549

2 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
シロキ工業株式会社	3,041,793	日本

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	自動車用部品							非自動車用部品	合計
	シート用部品	ウインドウレギュレーター用部品	ロック用部品	エンジン用部品	足回り用部品	その他	小計		
外部顧客への売上高	5,031,699	1,211,126	607,330	1,949,926	1,309,584	1,555,771	11,665,440	802,862	12,468,302

2 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
シロキ工業株式会社	2,380,997	日本

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	3,345.12円	3,167.19円
1株当たり当期純利益	186.73円	△72.94円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	472,715	△184,639
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	472,715	△184,639
普通株式の期中平均株式数(株)	2,531,548	2,531,456

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

連結包括利益計算書関係、リース取引関係、金融商品関係、有価証券関係、デリバティブ取引関係、退職給付関係、ストック・オプション等関係、税効果関係、企業結合等関係、資産除去債務関係、賃貸等不動産関係、関連当事者情報に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きくないと考えるため開示を省略しております。

(参考資料)

2020年6月期 第4四半期 決算発表参考資料

2020年7月31日

1. 連結業績

(単位：百万円、%、()は売上高比率)

	前連結会計年度 2018.7~2019.6	当連結会計年度 2019.7~2020.6	増減額	増減率 %	通期予想 2020.7~2021.6	対前年 増減率%
売上高	14,567 (100.0)	12,468 (100.0)	△2,099	△14.4	11,142 (100.0)	△10.6
営業利益	585 (4.0)	16 (0.1)	△568	△97.2	27 (0.2)	70.2
経常利益	668 (4.6)	108 (0.9)	△560	△83.8	105 (0.9)	△2.3
親会社株主に 帰属する純利益	472 (3.2)	△184 (△1.5)	△657	—	73 (0.7)	—
1株当たり純利益	186円73銭	△72円94銭			29円03銭	
設備投資	633	1,534	900	142.2	1,703	11.1
減価償却費	615	706	90	14.7	699	△0.9
為替レート(USD)	110.69円	109.10円			106.00円	
為替レート(THB)	3.42円	3.50円			3.30円	
為替レート(CNY)	16.52円	15.66円			15.00円	
連結子会社数	6社	5社			5社	

2. セグメント情報

(単位：百万円、%、()は構成比、上段は売上高、下段[]は営業利益)

	前連結会計年度 2018.7~2019.6	当連結会計年度 2019.7~2020.6	増減額	増減率 %	通期予想 2020.7~2021.6	対前年 増減率%
日本	12,120 (83.2) [356]	10,071 (80.8) [10]	△2,049 [△346]	△16.9	9,707 (87.1) [55]	△3.6
米国	1,297 (8.9) [46]	1,170 (9.4) [△20]	△126 [△66]	△9.8	968 (8.7) [△30]	△17.2
タイ	2,300 (15.8) [167]	1,957 (15.7) [39]	△342 [△128]	△14.9	1,080 (9.7) [△27]	△44.8
中国	463 (3.2) [0]	345 (2.8) [△29]	△117 [△30]	△25.3	408 (3.7) [4]	18.1
セグメント 間取引消去	△1,614 (△11.1) [13]	△1,077 (△8.7) [15]	536 [2]	—	△1,021 (△9.2) [25]	—
合計	14,567 (100.0) [585]	12,468 (100.0) [16]	△2,099 [△568]	△14.4	11,142 (100.0) [27]	△10.6

3. 連結経常利益増減要因 4. セグメント別業績の推移

(対前年同期比較)

(単位：百万円、上段は売上高、下段[]は営業利益)

		(単位：百万円)	2017/6期	2018/6期	2019/6期	2020/6期	2021/6期(予)
増益	要 因	金額	11,291	11,779	12,120	10,071	9,707
	労務費人件 費減少	426	[403]	[319]	[356]	[10]	[55]
	諸経費削減	41	1,230	1,295	1,297	1,170	968
	計	467	[65]	[66]	[46]	[△20]	[△30]
減益	減算の影響	△920	1,886	2,093	2,300	1,957	1,080
	限界利益率 の悪化	△115	[115]	[136]	[167]	[39]	[△27]
	計	△1,035	403	441	463	345	408
	計	△1,035	[△6]	[9]	[0]	[△29]	[4]
差引営業利益の増減	△568	セグメント 間取引消去	△1,371	△1,436	△1,614	△1,077	△1,021
			[26]	[17]	[13]	[15]	[25]
営業外収支の増減	8	合計	13,440	14,174	14,567	12,468	11,142
差引経常利益の増減	△560		[604]	[548]	[585]	[16]	[27]